

2011年度

(平成23年度)

活動報告書

特定非営利活動法人

トルシーダ

平成 23 年度の活動を振り返って

12月25日、文部科学省・国際移住機関の委託で2年半おこなってきた定住外国人の子ども就学支援事業（通称虹の架け橋教室）が終了しました。トルシーダでは日本語教室 CSN として実施してきた事業です。

2年半で何か変わったか、変えることができたのか、考えるところですが、外国人の子どもたちの状況は残念ながらあまり変わっていません。送迎を出しているいろいろな地域の子もたちと関わるようになり、言葉だけではない、いろいろな問題が複雑にあること、それを解決できる方法や機関がないことを実感する毎日でした。そんな中、CSN のスタッフは子どもたちと真剣に向き合い、気持ちのよりどころを作り、進路に繋げる努力を続けてきました。スタッフの気持ちに支えられ、12月以降、3月までの日本語教室 CSN も続けることができました。この間、豊田市の委託を受けられたことも嬉しいことでした。

また、23年度はCSN、中級日本語講座に加え、文化庁の日本語教室設運営事業、愛知県の外国人青少年の夢エスコート事業と、いくつかの事業を行いました。少数精鋭といえは聞こえはいいのですが、つまり総動員状態で事業にあたり、今までの経験やスキルの総まとめとなりました。

国、県のレベルで行われていた緊急雇用対策事業は23年度で終了します。幸い、定住外国人の就学支援事業は、24年度から3年間継続することになりました。すべての外国人の子どもたちの日本語と教育が制度として保障されることを目指して、子どもたち、保護者の声を社会に届ける努力を続けていこう、と改めて思う23年度でした。



代表 伊東浄江

平成 23 年度活動報告書 もくじ

- P2 平成 23 年度の活動を振り返って
- P3 平成 23 年度実施事業一覧
- P4 活動報告 (1) 日本語教室 CSN
- P5 活動報告 (2) 地域の日本語教育
- P8 活動報告 (3) 地域との交流
- P13 運営・広報・受賞の記録
- P14 事業別収支報告

平成 23 年度（2011） 実施事業一覧

外国籍の青少年への居場所提供事業

* 日本語教室CSN

文部科学省・IOM 委託 定住外国人の子どもの就学支援事業 虹の架け橋
豊田市国際課委託 外国人不就学児童生徒サポート事業

日本語教育事業

* 中級日本語講座

豊田市産業労政課委託 外国人就労支援研修

* 多文化地域貢献教室 日本語教室「さくさく」

愛知県国際課委託

* 情報収集と発信をする日本語講座「みんないっしょに」

* 活動を通して学ぶ日本語～地域を知ろう地域に学ぼう～「みんないっしょに2」

文化庁文化部国語課委託 生活者としての外国人のための日本語教育事業

情報提供事業

* 地域交流活動

自主事業

* 生活や教育に関する情報提供・相談

自主事業

* 情報発信

* 外国人就労支援セミナー

豊田市産業労政課委託 外国人就労支援研修

* 外国人青少年の夢エスコート事業

愛知県国際課多文化共生推進室委託

* 地域とブラジル人コミュニティを結ぶ情報発信

住友ゴム CSR 助成

日本語教室 CSN

4月～12月 定住外国人の子どもの就学支援事業「虹の架け橋」 文部科学省・IOM 委託

1月～3月 外国人不就学児童生徒サポート事業 豊田市国際課委託

委託費 10,391,152 円

日本の学校へ通っていない外国籍の子どもが日本語を学び、昼間安心していただける居場所をつくるために日本語教室を開いています。

外国籍の住民が多く暮らしている豊田市保見団地で、2003 年から不就学の子どもの居場所づくりの日本語教室を開いています。今年度は4月～12月までは定住外国人の子どもの就学支援事業として、1月から3月までは外国人不就学児童生徒サポート事業として実施することができました。保見団地だけでなく、豊田市や近隣のみよし市南部からも、これまでになく多国籍の子どもたちを受け入れました。

<活動実績>

■期間:平成23年4月7日～平成24年12月20日 (167回)

10:00～15:30 (時期によって変動あり)

平成24年1月6日～平成24年3月29日 (58回)

10:00～13:00

月曜日～金曜日

■場所:豊田市保見ヶ丘5-1

UR都市再生機構保見ヶ丘第一、第二集会所

■学習者:7歳～18歳

不就学、不登校、日本語を学びたいブラジル人学校の児童生徒 計22名

■スタッフ:コーディネーター1名、日本語、教科指導者9名、バイリンガル指導員1名

事務、会計1名、通訳1名(豊田市国際交流協会より外国人子弟教育支援として派遣)

■内容

- a. 平日毎日行う教室活動では、初期日本語指導をはじめ、子どもたちの進路希望に応じ高校進学のための教科指導、受験指導を行いました。
- b. 社会見学や地域イベント、農業など体験型の学習を通じて子どもたちの社会性を育む活動を積極的に行いました。
 - ・社会見学: 岡崎城、八丁味噌工場、リトルワールド、豊田市郷土資料館 コカコーラ工場、常滑焼き物の道
 - ・地域講師の会: 凄い!フィリピンってこんな国、健康相談会と食育、進学した先輩たちの話
 - ・体験学習:「何かできそう!外国人の子どもの教育サポートあんなこと・こんなこと」での発表とワークショップ(TIA国際理解教育セミナー)参加
 - 東日本大震災被災地へ送る道具箱づくりのお手伝い(自立のための道具の会)、流しそうめん、竹細工、農業体験(田植え、稲刈り、精米、畑仕事)、畑でバーベキュー





手作り鎧兜試着、私の国際フォトコンテスト応募、
保見グランド落ち葉清掃、おいでんまつりボランティア
活動ときめきフェスタ(イベントとバザー出店)、 ほか

- c. 子どもたちの進路について本人や保護者と共に考えるため、
進学や教育制度に関する情報提供を行いました。

学習者人数 (人)

	ブラジル	フィリピン	ペルー	パキスタン	ネパール
小学生相当年齢	5	3	0	0	0
中学生相当年齢	5	2	0	0	0
高校生相当年齢	1	3	1	1	1
総計 22 人 (実数)					

(帰化や家庭の状況により日本国籍の学習者もいるが、出身につながる国別で分類)

事業の成果と課題

架け橋事業が 12 月で終了し、学校に在籍しながら通っていた子どもたちは学校に戻ることができました。また、12 月以降も不就学や進学を目指す子どもたちを中心に豊田市の事業として 3 月まで続けることができました。今年度は3名が県立の定時制高校を受験し、進学を果たしました。



活動報告(2) 日本語教育事業

地域の日本語教育

外国籍の住民が日本語を学ぶ場を作り、地域での暮らしを応援するために日本語教室などを行っています。大人を対象とし就労支援や地域貢献を目的とした日本語教室を行いました。

中級日本語講座

豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託

委託費 1,400,000 円

外国籍住民の就労に役立つよう日本語教室を開催しました。実際に仕事をする際に必要となるコミュニケーションや就職のための情報がわかるようになることを目指して、漢字や作文の学習にも力を入れて行いました。

<活動実績>

- 期間: 1 ターム 平成 23 年 4 月 27 日～平成 23 年 8 月 5 日 全 34 回 受講者数 34 人
- 2 ターム 平成 23 年 8 月 17 日～平成 23 年 10 月 21 日 全 22 回 受講者数 20 人
- 3 ターム 平成 23 年 12 月 5 日～平成 24 年 2 月 20 日 全 24 回 受講者数 13 人

月、水、金 19:00～20:30 計 80 回

■場所: 豊田市就労支援室、とよた市民活動センター

■学習者: 就労やステップアップのために日本語を学びたい外国人 16 歳以上

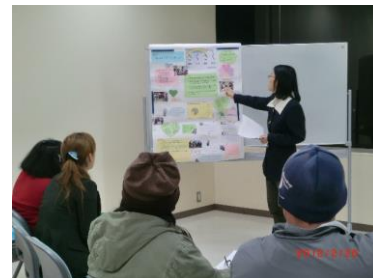
前期 34 人、中期 20 人、後期 13 人 (述べ参加人数 1210 人)

■スタッフ: 日本語教師 4 名

■内容 I クラス 初級後半から中級前半レベルの日本語会話、文法、漢字学習

II クラス 中級レベルの職場で役立つ日本語会話、文法、作文、漢字学習

昨年までと同様、参加希望の多い初級後半と中級前半レベルの 2 グループに分け、就労支援セミナーと時期をずらし 3 タームで実施しました。あったかフェスタで活動紹介を掲示したり、仕事を通して学んだり考えたりしたことについて書いた作文を『感動の玉手箱』に応募し、3 名が掲載されるなど社会とのつながりが持てる活動に結びつけました。



多文化地域貢献教室日本語教室さくさく

愛知県多文化初期指導教室開催業務委託
委託費 2,500,000 円

地域で暮らす外国籍住民を対象に、日本語を学び、地域社会を知る機会を提供し、地域に貢献する活動を行う日本語教室を開きました。日本語指導者とバイリンガル指導者を新規雇用し、準備期間を設けたり、定例ミーティングを開いて指導者の育成にも力をいれました。



<活動実績>

■期間: 平成 23 年 11 月 16 日～平成 24 年 3 月 16 日

10:00～13:00 水曜日、木曜日、金曜日 計 46 回

■場所: 豊田市若宮町 とよた市民活動センター 研修室ほか

■参加者: 計 41 名 (15 歳以上)

(国籍: 中国 21 名、タイ 6 名、ブラジル 3 名、フィリピン 3 名、アルゼンチン 2 名、ネパール 1 名、パキスタン 1 名、台湾 1 名、ポーランド 1 名、ベネズエラ 1 名、日本 1 名)

■スタッフ: コーディネーター 1 名、日本語指導者 2 名(新規雇用)、
バイリンガル指導者 2 名(新規雇用) 事務 1 名

■内容: 体験活動を通じた日本語や生活ルールの指導

[テーマ: 図書館の利用、日本の行事、防災、リサイクル、公共交通機関の利用ほか]

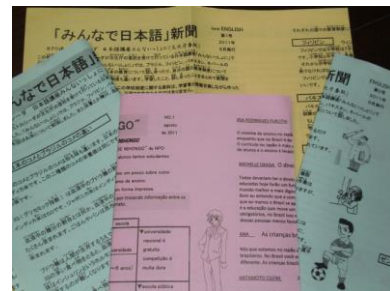
地域コミュニティに貢献する活動

[公立小学校と子ども支援センターでの多言語読み聞かせ、地域行事への参加]

情報収集と発信をする日本語講座 みんないっしょに

文化庁国語課生活者としての外国人のための日本語教育事業日本語教室の設置運営委託
委託費 770,555 円

生活者としての外国人に必要な情報とは何か、また情報発信の方法を学習者と共に考え、読み書きの学習の機会を作るための日本語教室を開きました。



<活動実績>

■期間:2011年7月12日～2011年10月13日

10:00～12:00 (毎週水、木、金曜日) 計30回

ほかに運営委員会を3回実施し講座に活かしました。

■場所:豊田市保見ヶ丘5-1 UR都市機構保見ヶ丘第一集会所

■参加者:計15名(15歳以上)

(ブラジル11名、フィリピン2名、ネパール1名、パキスタン1名)

■スタッフ:コーディネーター1名、日本語指導者5名、補助者9名、原稿作成1名、
運営委員9名

■内容:外国人が必要としている情報や生活するうえでの課題について話し合い、指導者は必要な情報を集めてリライトし、学習者はその情報を教材にして作文と母語への翻訳をしました。それらを原稿にしてニュースレターを作成しました。また、子育て中の保護者の参加を促すために託児、夏休みの宿題教室を行いました。

活動を通して学ぶ日本語～地域を知ろう地域に学ぼう～ みんないっしょに2

文化庁国語課生活者としての外国人のための日本語教育事業日本語教室の設置運営委託
委託費 974,182 円



ブラジル人学校生徒や公立学校へ行っていない子ども、青少年を対象に日本語学習の機会を作り、日本語教室の活動を通して地域社会について学ぶことを目的として日本語教室を開きました。

<活動実績>

■期間:2011年11月18日～2012年3月5日 10:00～12:00

(毎週水、木、金曜日) 計30回

ほかに運営委員会を3回実施

■場所:豊田市保見ヶ丘5-1 UR都市機構保見ヶ丘第二集会所

■参加者:計19名(15歳以上)

(ブラジル15名、ペルー3名、フィリピン1名)

■スタッフ:コーディネーター1名、日本語指導者5名、運営委員会8名

■内容:日本での生活について、学習者が興味のあるテーマを選び、読んだり、話し合ったり、見学に行

ったり、専門家の話を聞いたりする体験型の日本語学習を行いました。そして、学んだことや体験したことについて学習者が日本語と母語で記事を書き、ブログで発信しました。参加者はブログ講座(住友ゴム CSR 助成)で、pc の使い方からブログのアップの仕方までを習いました。

テーマ:日本の学校教育と学習塾、年中行事、災害に備える、医療機関ほか

体験:学習塾の講師のお話、大学生の進学体験談、大学見学、習字、恵方巻きづくり、ひなまつりパーティの企画実施、おこしものづくり、着物試着、災害ダイヤル体験など

ブログで発信する日本語教室みんないっしょに <http://blog.canpan.info/minnaisho2/>

事業の成果と課題

時間や曜日を変えて、保見団地と豊田市駅前で色々な形の日本語教室を開くことができました。様々な立場の方が関わってくださり、新たな学習者の発掘にもつながりました。

指導者の研修

トルシーダが主催する日本語教室の指導者たちが、学習者の状況や日本語指導について理解を深め、より良い指導に繋げるために研修や講演会等に参加しました。

- ・「こどもの日本語ライブラリ」意見交換と日本語教育に関する相談会（4/18）ウインクあいち
- ・反貧困集会 各分科会に分散して参加（6/18）中京大学
- ・外国人の子どもと保護者のための進学ガイダンス（9/25）名古屋国際センター
- ・研究発表 かかわり合いを通して、ともに学び伸びていく子の育成（11/11）東保見小学校
- ・定住外国人の子どもの就学支援事業シンポジウム（11/16）文部科学省
- ・地域で進める多文化共生～東日本大震災を経て多文化共生はどう進化したのか？～ TIA
講師：田村太郎氏（12/2）
- ・高生研 49 回全国大会名古屋大会 「なぜと問いあえる関係性を作ろう」（8/8）
- ・バイリンガル評価の研修会 豊川（7/3～6）
- ・全国市町村国際文化研修所 地域の外国人児童・生徒への支援セミナー（7/26～29）



活動報告(3) 情報提供事業

地域との交流

外国籍の住民が地域や日本社会の情報を得、地域のなかで地域の人とともに豊かに暮らしていけるよう交流活動や情報発信を行いました。

生活や教育に関する情報提供・相談

日本で暮らしている外国籍住民の生活の困りごとの相談窓口となり、情報提供を行っています。日本で進学や進路についての情報提供を行い、必要な場合には通訳を用意したり、専門機関につなぐなどの活動を通年、無料で行っています。今年度は高校を中退後の進路の相談や、家出した子を預かっているなど、社会との接点がなくなってしまった青少年についての相談が印象的でした。



情報発信

地域のイベントに参加したり、見学やボランティア体験を受け入れ、地域の様々な立場の方に外国籍の子どもたちの状況を知っていただいたり、交流を経験してもらおうと共に理解者を増やす機会としました。

また、活動の理解者を増やし、会費収入にもつながるよう、チームを作ってトルシーダの広報の課題について考えました。アドバイザーの指導を受け、リーフレットやホームページのリニューアルなど具体的な取り組みに繋げることができました。

<広報チームの結成>

- 期間 平成23年11月1日～平成23年2月28日まで 12日間
- チームメンバー 団体メンバーと学生ボランティア 計7名
- 内容 JICA 「NGO組織強化のためのアドバイザー派遣」を利用し指導を受けた
ホームページリニューアル、リーフレット（一般向け、利用者向けなど3種類作成） ほか

<地域のイベントへの参加>

- ・保見ふれあいまつり 活動パネルの展示（11/6）
- ・とよた市民の誓いあったかフェスタ パネル展示、他団体とのコラボ企画（3/4）

<ボランティア、インターンの受け入れ>

- ・大同大学学生ボランティア 4人（6/25）
- ・豊田社会福祉協議会ボランティア体験隊 2011（7月、8月）
- ・ソーシャルビジネスインターン 豊田学泉大学 3人（8月）

<見学の受け入れ>

- ・とよた NPO 大学特別ゼミ「ソーシャルビジネス・インターンシップ意見交換会」（11/20）など

<講義、活動報告>

- ・高校生活指導全国協議会 東海ブロックゼミナール 活動報告（3/13）
- ・移住労働者と連携する全国フォーラム東海2011 教育分科会での事例発表（6/18）中京大学
- ・金城大学、愛知教育大学、中京大学など

<会議への参加・調査協力>

- ・豊田市多文化共生推進協議会
- ・愛地球博記念公園マネジメント会議
- ・豊田市教育委員会不就学調査

外国人就労支援セミナー

豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託

委託費 700,000 円

求職中の外国籍住民が、就労に必要な知識と技術を実践的に身につけることを目的としてセミナーを開催しました。今年度は、リーマンショックから3年、少し先の見通しがきくようになったかと思ったところへ東日本大震災が起こり、節電のため休業日が変更になったりする中、景気の先行きをうらない、これからの仕事や暮らしについてじっくり考えたり、地域と関わったり、履歴書の資格欄に日本語能力が書けるよう企画を実施しました。



<活動実績>

- 期間:前期 平成23年6月24日～7月29日 金曜日 19:00～20:30 全5回
中期 平成23年8月22日(月),24日(水),26日(金) 19:00～20:30 全3回
後期 平成23年10月～11月 毎週日曜日 14:00～17:00 全6回
- 場所:豊田市就労支援室、とよた市民活動センターほか
- 参加者 前期 のべ82人、中期 のべ16人、後期 のべ136人 (16歳以上)
- 内容

<<前期>>

第1回	豊田市産業労政課課長 太田康介氏	これからの仕事の見通し
第2回	(株)リベルタ 原田篤実さん	新しい仕事の探し方(インターネットを利用して)
第3回	(株)リベルタ 原田篤実さん	先輩の就活事例研究
第4回	様々な職場で活躍する外国人の皆さん	自分を活かす仕事
第5回	日経新聞 編集委員 藤巻 秀樹さん	起業で成功～新大久保の成功事例から～



<<中期>>

地域社会と関わる機会を作るため、学習者の得意なことを活かして、講座の企画、運営、実施を目指した。とよた国際交流市民事業助成金に申請を考えたが、実施には至らなかった。

<<後期>>

昨年に引き続き日本語能力試験対策講座を実施した。試験の申込期限と受講募集のタイミングを合わせ、内容的にも実践的な試験対策が提供でき

た結果、N2 3名、N3 4名、N4 1名の合格者が出ました。

外国人青少年の夢エスコート事業

愛知県国際課多文化共生推進室委託

委託金 9,450,000円

外国籍の子どもたちが将来の仕事に夢を持ち、その実現のために努力すること、それを支えるボランティアが進学や就職に向けた支援を効果的に行えるよう子ども・保護者用ガイドブックと支援者用のガイドブックを作成しました。また、そのガイドブックの普及に向けたセミナーを行いました。

<活動実績>

■期間：平成23年7月7日～平成24年3月26日

■内容

* 進学、就職支援に関する調査

外国人の子ども、保護者への進路や必要な情報についてのアンケートの実施

進学、就職に関して夢をかなえた先輩への聞き取り調査

高校等の教育制度や進学に関して知っておくべき情報など教育関係者への聞き取り調査

* ガイドブックの作製

①子ども、保護者向けガイドブック

翻訳（ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語版）

②支援者向けガイドブック

* ガイドブック普及に向けた説明会の開催

①支援者向けセミナー

日時：平成24年3月17日 13:30～16:00

場所：あいち国際プラザ

参加者：外国につながる子どもたちの支援者 61名

内容 講演「義務教育年齢を超える外国人青少年のサポートについて」

愛知淑徳大学准教授 小島祥美氏

報告「中学夜間学級について」（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団中学夜間学級 伊藤純子氏

報告「外国につながる子どもたちの進路応援ガイドブックについて」トルシーダ

ワークショップ「中学の後の進路につながる支援を考える」

②子ども・保護者向けセミナー

日時：平成24年3月23日 18:30～20:00

場所：保見交流館 多目的ホール

参加者 外国に繋がりのある青少年、保護者



内容 進路、職業について先輩の話を聞き、将来について皆で話し合い、考える
 講演 座間味パトリキさん、ロペス・ビビアネ・森谷さん、
 ナンシー・宮ヶ迫・理沙さん(かながわ国際交流財団)

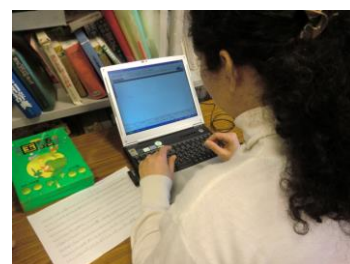
企画編集会議 全5回 編集企画委員 17名
 (教育委員会、語学相談員、豊田市、NPO ほか9名)

地域とブラジル人コミュニティを結ぶ情報発信

～地域を知ろう、子どもたちの手で伝えよう～

住友ゴム CSR 助成
 助成費 200,000 円

日系ブラジルの子どもたちや地域で暮らす人たちの手を通して、正確な地域社会の身近な情報を日本語とポルトガル語で発信することで、地域とブラジル人コミュニティを結び、情報の伝わり方を変えるきっかけとするためのブログ講座をおこないました。みんないっしょに2(文化庁委託)の学習者がブログの使い方を学ぶことで、学習した内容を発信することができました。



<活動実績>

- 期間:2011年11月21日～2012年2月29日 10:00～12:00 全5回
- 場所:保見交流館、保見団地 141 棟集会所
- 参加者 日本語教室みんないっしょに2の受講者 のべ 26 人
- 内容:ブログ等を使った情報発信の方法を学ぶ講座を開催し、実際に学習者がブログを立ち上げて記事を書きました。13名の登録者が40記事を書きました。 [<http://blog.canpan.info/minnaissho2/>]

第1回	活動助っ人座 深津銀巳氏	IT技術の基礎知識
第2回	日本財団 CANPAN 山田泰久氏	有効な情報発信とは?
第3回	日本財団 CANPAN 山田泰久氏	ブログとは?
第4回	愛知県警サイバー犯罪対策抑止対策課	ITの基礎知識 インターネットの安全教室
第5回	ぼらみみ 岸本正好氏	いろいろな情報発信

事業の成果と報告



これまでも行ってきた日々の情報提供、相談活動や就労支援セミナー事業に加え、進路に関するガイドブックの作成で、トルシーダのこれまでの活動のまとめとすることができました。また、運営委員会を通して教育委員会などの協力を得ることもでき、活動のネットワークがひろがりました。さらに団体の広報活動を戦略を持って行うためのチーム結成や学習者によるブログの立ち上げなど新しいことにもいくつか挑戦し、今後につながる活動となりました。

運営の報告

理事会

- 第1回 平成23年5月28日(土) 10:00~12:00 とよた市民活動センターにて
平成22年度事業報告(案) 平成22年度収支決算(案)について
- 第2回 平成23年7月17日(日) 17:00~19:00 とよた市民活動センターにて
平成23年度事業計画(案) 平成23年度収支予算(案)について
- 第3回 平成23年9月11日(日) 9:00~12:00 豊田社会福祉センターにて
平成23年度事業計画変更(案)、収支予算変更(案)について
- 第4回 平成23年9月18日(日) 9:00~12:00 豊田社会福祉センターにて
平成23年度新規事業の内容について

総会

- 第1回 平成23年6月12日(日) 10:00~12:00 とよた市民活動センターにて
平成22年度事業報告、平成22年度収支決算報告と承認
平成23年度事業計画、平成23年度収支予算および今年度の事業実施について



広報の記録

☆感動の玉手箱2011 エピソード部門掲載(中級日本語講座学習者作品)

「尊敬する気持ち」 吉野ハルミさん

「あきらめない」 青木エリーザさん

「仕事を通して成長する」 中村エリザさん

☆ひまわりネットワーク 「よーいどん！」おしえてどんサポ(7月26日)放送

☆TV グローボ・インターナショナルチャンネル 在日コミュニティ情報番組にて紹介

☆平成22年度文部科学省委託調査「教育関係NPO法人に関する調査研究」事例集に掲載

教育関係NPO法人の活動に役立つ、また、教育委員会をはじめ企業等の関係各所の指標になるような実践的な全国の教育関係NPO法人の事例集・2-3 不登校、ニート・ひきこもりに対する支援(P130)

受賞等の記録

愛知県多文化推進貢献功労賞 (個人表彰)

トルシーダ代表が保見地区で活動するNPOの2代表と共に個人表彰を受けました。(1月29日)
多文化共生フォーラムあいち2011にて

事業別収支

居場所提供事業

*日本語教室 CSN

収入 : 10,391,152 (委託金、利息)

支出 : 10,248,863

日本語教育事業

*中級日本語講座

収入 : 1,400,000 (委託金)

支出 : 1,173,433

*多文化地域貢献教室 日本語教室「さくさく」

収入 : 2,500,000 (委託金)

支出 : 2,360,095

*情報収集と発信をする日本語講座/活動を通して学ぶ日本語

収入 : 1,744,737 (委託金)

支出 : 1,671,057

情報提供事業

*地域交流活動

自主事業の為収支ゼロ

*生活や教育に関する情報提供、相談

自主事業の為収支ゼロ

*情報発信

自主事業の為収支ゼロ

*外国人就労支援セミナー

収入 : 700,000 (委託金)

支出 : 485,357

*外国人青少年の夢エスコート事業

収入 : 9,450,000 (委託金)

支出 : 9,717,903

*地域とブラジル人コミュニティを結ぶ情報発信

収入 : 200,000 (補助金)

支出 : 187,258

管理費

収入 : 1,305,744 (会費、寄付金等)

支出 : 1,719,283

会員の皆様へ

地域の外国籍住民を応援する
活動を支えていただき
ありがとうございます。

.....

会員になって活動を応援してください！

賛助会員 年会費 1口 1000円（3口以上）

郵便振替口座：008906129519

加入者名：特定非営利活動法人トルシーダ

入会のご希望は↓

.....

特定非営利活動法人トルシーダ

おもな活動場所：愛知県豊田市保見ヶ丘 5-1-1 UR 都市機構保見ヶ丘第一、第二集会所

団体 TEL 090-6462-3867

メール torcidajpp@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/torcidajpp/>